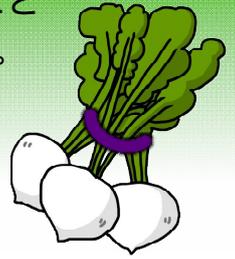


背景・目的

市内では、‘玉里’を基幹品種として栽培していますが、根形が扁平になりやすいことが課題のため、昨年度良好な成績が得られた6品種について生育特性を検証しました。

特に重視した評価ポイントは、以下の3項目です。

- ・根形が、扁平ではなく腰高となること
- ・障害（主に葉先枯れ、裂根）の発生が少ないこと
- ・主な出荷サイズであるL~3L規格の割合が多く、規格のそろいが良いこと



結果

2年間の試験結果をもとに、‘玉里’との比較で同等以上と評価した品種は以下のとおりでした。

作期1（3月下旬播種，6月上旬収穫）

	評価年度	根形	障害	規格のそろい	収量	総合評価
ゆりかもめ	R4			×		
	R5					○
	最終評価					
雪牡丹	R4					
	R5					
	最終評価					



玉里

作期2（6月下旬播種，8月中旬収穫）

	評価年度	根形	障害	規格のそろい	収量	総合評価
ゆりかもめ	R4				○	
	R5		○	×		
	最終評価					



ゆりかもめ

作期3（8月下旬播種，10月下旬～11月上旬収穫）

	評価年度	根形	障害	規格のそろい	収量	総合評価
ゆりかもめ	R4				○	
	R5			○		
	最終評価					
雪牡丹	R4					○
	R5		○	○		○
	最終評価					



雪牡丹

：優れる ○：やや優れる ：同等 ：やや劣る ×：劣る

結果の活かし方

各作期ごとのおすすめ品種

作期1：各品種に一長一短はありますが、‘玉里’‘ゆりかもめ’‘雪牡丹’

作期2：根形が腰高で障害が少なく、収量が多い‘ゆりかもめ’

作期3：根形が腰高で収量の多い‘ゆりかもめ’

根形は同等ですが、規格のそろいが良く、収量が多い‘雪牡丹’

